

温 泉 分 析 書 別 表

1	源 泉 名 :			
2	利 用 場 所 :	北海道河東郡上士幌町字ぬかびら源泉郷 株式会社 富士見観光ホテル 中村屋 露天注入口		
3	温泉分析申請者 :	河東郡上士幌町字ぬかびら源泉郷南区32番1号	中村 準一	
4	泉 質 :	単純温泉 (中性低張性高温泉)	(旧泉質名:単純温泉)	
5	療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。			
浴 用	禁 忌 症	急性疾患 (特に熱のある場合)、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患 活動性の結核、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中 (特に初期と末期)。		
	適 応 症	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、冷え症 疲労回復、慢性消化器病、痔疾、病後回復期、健康増進。		
飲 用	禁 忌 症			
	適 応 症			
浴用、飲用の 一般的注意事項		<p>1 入浴の方法及び注意</p> <p>(1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をすること。 (2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分位とし、なれるにしたがって延長してもよい。 (3) 入浴中は運動浴の場合は別にして、一般には安静を守ること。 (4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。 (5) 高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高温浴 (42℃以上) を禁忌とする。 (6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。ただし、「湯ただれ」を起こし易い人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。 (7) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。 (8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。 (9) その他</p> <p>2 飲用の方法及び注意</p> <p>(1) 飲用の1回量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日量はおおむね200mlないし1,000mlまでとする。 (2) 一般には食前30分ないし1時間がよい。 (3) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けること。 (4) その他</p> <p style="text-align: center;">大人一人一日の飲用量は720mlとすること (フッ素含有)。 15歳以下のものについては、知見が必ずしも十分でないため、原則的には飲用を避けること。 ただし、例外的に飲用する場合には、医師の指導を受けること。</p> <p>◎ 温泉療養に際しては、医師の指導を受けることが望ましい (注) この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。</p>		
		平成 21 年 11 月 10 日		
		決定者 北海道立衛生研究所長 		